

御所市義務教育学校建設に関する基本設計及び実施設計業務公募型プロポーザル
審査結果及び審査講評

1. 事業者選定について

御所市義務教育学校建設に関する基本設計・実施設計業務の実施にあたり、適切に業務を遂行できる事業者を選定するため、御所市義務教育学校設計事業者選定審査会を設置し、公募型プロポーザル方式により審査を実施しました。

厳正な審査の結果、優先交渉権者および次点交渉権者を次のとおり選定いたしました。

2. 審査結果

順位	事業者	点数
優先交渉権者	石本・シード設計共同体	合計 108.77 点 一次審査 24.67 点 二次審査 84.10 点 (技術提案 74.10 点 価格提案 10.00 点)
次点交渉権者	株式会社山下設計 関西支社	合計 98.20 点 一次審査 17.00 点 二次審査 81.20 点 (技術提案 71.20 点 価格提案 10.00 点)

3. 選定までの経緯

令和 8 年 4 月 27 日 (月)	募集要項等の公表 各質問、現地説明会、参加表明書の受付開始
令和 8 年 5 月 1 日 (金)	現地説明会の受付期限
令和 8 年 5 月 11 日 (月)	現地説明会の開催
令和 8 年 5 月 13 日 (水)	参加表明書に関する質問の提出期限
令和 8 年 5 月 18 日 (月)	参加表明書に関する質問の回答期限
令和 8 年 5 月 20 日 (水)	参加表明書の提出期限
令和 8 年 5 月 25 日 (月)	一次審査結果通知 技術提案書の受付開始

令和 8 年 6 月 1 日（月）	技術提案書に関する質問の提出期限
令和 8 年 6 月 8 日（月）	技術提案書に関する質問の回答期限
令和 8 年 7 月 15 日（水）	技術提案書の提出期限
令和 8 年 7 月 17 日（金）	プレゼンテーション・ヒアリング実施通知
令和 8 年 7 月 29 日（水）	プレゼンテーション・ヒアリング実施
令和 8 年 8 月 7 日（金）	二次審査結果通知
令和 8 年 8 月 10 日（月）	二次審査結果及び優先交渉権者の公表

4. 審査講評

御所市が目指す新しい義務教育学校は、子どもたち一人ひとりの学びと成長を支えるとともに、地域とのつながりを育み、未来へ受け継がれる学びの拠点となる学校です。そのため、本プロポーザルでは、本市の教育理念を十分に理解し、9年間の連続した学び、多様な学習活動及び地域とのつながりを支える教育環境を実現するとともに、敷地条件、既存施設との関係、周辺環境、高さ制限その他の本市特有の条件や制約を的確に捉え、これらを創意工夫により価値へと転換する実現性の高い提案を求めました。

また、御所市の歴史・文化・地域性を尊重すること、市民、児童生徒及び教職員との対話を大切にすること、持続可能性、安全性を両立し、最大限の価値を創造することを設計者に期待しました。

本プロポーザルに参加したのは9者であり、一次審査においては、参加資格要件の確認および提出書類の審査を行い、7者を一次審査通過者として選定しました。

その後、2者の辞退届の提出があり、二次審査においては、5者によるプレゼンテーションおよびヒアリングを実施し、「(1) 実施方針」、「(2) 建築計画」、「(3) コスト・整備計画」、「(4) 価格」の4つの評価項目について総合的に審査を行いました。

各応募者からの提案は、本市の教育理念や地域特性を丁寧に読み取り、それぞれの強みを生かした創意工夫に富む提案が示され、いずれも高い技術力と豊富な経験に裏付けられた質の高い内容でした。教育環境、空間構成、地域との連携、安全性、施工性、維持管理、コスト及び市との協働体制など多角的な視点から慎重に審査を行い、その結果、優先交渉権者、次点交渉権者は以下のような点で評価されました。

優先交渉権者：石本・シード設計共同体

本市が目指す義務教育学校の理念や地域特性を十分に理解した、完成度の高い提案でした。豊富な実績に基づきながら建築・土木の専門的な実施体制を構築し、業務工程、品質管理の面で具体的な内容が示され、着実な実行が可能と評価されました。9年間の学びの連続性やインクルーシブな教育、多様な学習形態を支える空間構成、地域とのつながりや防災機能への配慮など、教育的価値の高い提案に加え、様々な制約がある中で、敷地条件を十分に理解し、環境への配慮、高さ制限等への対策も検討したうえで、効率的かつ合理的な諸室の利用方法の提案があり、独自性と一貫性のある施設計画として優れていました。

また、合理的な検討に基づいた規模の縮小等によるコスト縮減に対する提案、維持管理まで見据えた提案が具体的で実現性が期待できるものでした。また、施工計画の検討が緻密に行われ、安全で円滑な教育活動が維持できる点で優れていました。

さらに、市・学校・地域との丁寧な対話を重ねながら計画を深化させる協働姿勢など、優れた教育空間の提案と、それを着実に実現するための実行力・総合的なマネジメントが高いレベルで両立されていた点が高く評価されました。

課題に対する理解や柔軟な対応姿勢、提案内容をさらに発展させようとする姿勢が見られ、本市がパートナーとして求める設計者像に最もふさわしいと判断しました。

次点交渉権者：株式会社山下設計

本市の教育理念や地域特性を十分に理解し、多様な学びを支える学校づくりを意欲的に提案した、創造性に富む内容でした。

特に、メディアセンターを核とした学習環境や異学年交流を促す空間構成など、多様な学びを支える教育空間について意欲的な提案がなされ、その創造性が高く評価されました。また、地域景観など周辺環境とのつながりを意識した計画や、自然採光・環境への配慮、高さ制限など敷地条件への対応についても工夫が見られ、本市が目指す学校像を真摯に検討した姿勢がうかがえました。

本市の教育理念を踏まえた創造性と教育環境の提案力について高い評価を得た提案であり、事業全体を総合的に審査した結果、次点交渉権者として選定いたしました。

今後は、本プロポーザルで得られた成果を生かし、本市が目指す新しい義務教育学校の実現に向け、保護者、児童生徒、教職員、地域住民等関係者との対話を重ねながら、事業を着実に進めてまいります。

終わりに、本プロポーザルに参加いただきました事業者の皆様におかれましては、限られた期間の中で、本市の教育理念や事業趣旨を十分にご理解いただき、それぞれの専門性や技術力、豊かな創造性を生かした質の高いご提案をお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

令和8年8月 御所市義務教育学校設計事業者選定審査会

■選定審査会委員

	所属等	氏名
委員長	畿央大学教授	吉 村 理
委員	京都工芸繊維大学教授	朽 木 順 綱
委員	奈良教育大学准教授	廣 見 敦 志
委員	中学校校長代表	吉 川 洋 也
委員	小学校校長代表	蓮 尾 雅 人
委員	御所市副市長	奥 田 公 夫
委員	御所市教育長	春 田 晋 司
委員	御所市総務部長	中 尾 健 治
委員	御所市企画政策部長	竹 内 剛
委員	御所市市民協働部長	西 本 眞 敏